

事務事業	12005	ごみ処理事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
------	-------	--------	-----	-------	-----	-------

計後 画期 体計 系画	施策	13	ごみの減量と資源再利用を進め環境にやさしいまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	380	ごみ処理環境を維持する		款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	2	ごみ処理費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	S29 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
①家庭や事業所から出るごみの収集、運搬、処理 ・可燃ごみについては、篠栗町のごみ燃料化(RDF)施設クリーンパークわかすぎに搬入し、RDF固形化燃料として処理している。 ・不燃ごみについては、宇美志免リサイクルセンターエコルに搬入し、選別・処理をしている。 ②ごみ指定袋の燃やせるごみ袋・燃やせないごみ袋(5種類:陶器その他、金属、空きかん・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装類)を町が製作し、商工会を介して小売店・コンビニ等で販売。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		主 な 事 業 費 の 内 訳
①家庭や事業所から出るごみの収集、運搬、処理に関する事務。		
②入札事務 ③商工会から注文受付→業者に発注連絡 ④窓口で直接販売		
ごみ収集委託料 391,352 千円 広域ごみ処理施設事業費負担金 283,787 千円 指定ごみ袋製作委託料 18,589 千円 ごみ収集指定袋販売手数料 7,740 千円 宇美町最終処分場浸出水処理施設保守点検整備工事負担金 4,357 千円		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・家庭や事業所から出るごみの収集、運搬、処理に関する事務。 ・問い合わせに対して、電話及び現地訪問にて、ごみ分別指導。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)
ごみ 町民 事業所
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)
・適正に処理される ・受益者負担の公平化

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 販売数(燃やせるごみ袋)	枚	2,330,720	2,391,700	2,391,000 (見込)
イ 販売数(燃やせないごみ袋)	枚	441,315	459,165	459,000 (見込)
ウ 販売額	千円	144,744	146,588	146,500 (見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 家庭等から出る可燃ごみ量	t	10,289	10,416	10,400 (見込)
イ 世帯数	世帯	19,502	19,736	19,669 (見込)
ウ 事業所数	社	587	604	610 (見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 町民一人あたりの一日の可燃ごみ排出量	g	目標	612	612
		実績	615	619
イ		目標		
		実績		
ウ		目標		
		実績		
エ		目標		
		実績		
オ		目標		
		実績		

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等	149,525	147,751	152,514	149,108	149,108	149,108
		一般財源	566,866	616,790	566,823	622,444	622,444	622,444
		合計(A)	716,391	764,541	719,337	771,552	771,552	771,552
		(内臨時・嘱託職員人件費)	1,255	1,201	1,178	2,488		
	正職員人件費[按分](B)	2,507	3,428	3,132	5,402			
トータルコスト(A)+(B)		718,898	767,969	722,469	776,954	771,552	771,552	

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？(誰からの意見か明記)
昭和29年から清掃法により、ごみ収集は市町村の固有事務となった。	マンションや集合住宅の建設に伴う人口増加で、全体的なごみ量の増加に併せて処理費や収集委託料が増加している。	以前は事業系のごみ袋を、許可業者が製作していたため、町で製作すべきだという意見があった。

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	分別が徹底されていない地域があれば回覧文書やチラシの配布などにより啓発を行う。また、広報紙や町のホームページを通して啓発を継続し、あわせて、町内会(組合)においても、分別の徹底を自発的に取り組んでいただくよう働きかけを行う。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません)  <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	ごみ分別は、住民(排出者)で行うため、個人の意識、モラルの向上が不可欠であるため、今後も啓発に力を入れていく。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	ごみの収集・運搬を適正に行うことは循環型社会の構築へ貢献する。  ごみ排出時の受益者負担の適正化を図り、ごみの収集・リサイクルを適正に行うのは町の役割であるため妥当。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→) ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	分別が徹底されてない地域へは、回覧文書やチラシを配布している。また広報紙や町のホームページを通して啓発を適時行っており、町内会においても自主的に啓発を行っていく。  分別が徹底されてない地域へは、回覧文書やチラシを配布している。また広報紙や町のホームページを通して啓発を適時行っており、町内会においても自主的に啓発を行っていく。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか？(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	ごみ袋製作については、入札により業者を選定しているため、今以上の削減の余地はない。

### (2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

分別が徹底されていない共同住宅等は、アパート管理者へ入居者の分別指導の徹底を依頼した。今後も広報紙や町のホームページを通して啓発推進し、住民の意識の高揚・マナーの向上を図る。

## 3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	分別が徹底されていない地域があれば回覧文書やチラシの配布などにより啓発を行う。また、広報紙や町のホームページを通して啓発を継続し、あわせて、町内会(組合)においても、分別の徹底を自発的に取り組んでいただくよう働きかけを行う。